

『通いの場』通信

特集

SC調べ勝手に

No.1

みんなが気軽に無理なく楽しく集う場所であればその場所はずでに『通いの場』。

倉敷市社協に配置された生活支援コーディネーター(SC)が把握している数だけでもその数はおよそ900か所にのびります。

今回は、地域で数多く活動する『通いの場』のなかで、「この点においてきっとNo.1だろう」と思われる『通いの場』をご紹介します。

※あくまでもSCの把握する範囲でのNo.1になります。今回紹介の『通いの場』を超える活動があればぜひ教えてください！

内容盛りだくさん
部門

No.1

「サロンはれのちはれ」

毎週1回のサロンのなかで、ラジオ体操、百歳体操、脳トレ、歌、朗読、茶話会、全部やっちゃう！笑顔あふれるサロンです。

参加者
平均年齢部門

No.1

「北面すこやかクラブ」

平均年齢84歳！90歳、89歳、87歳のお姉さんメンバーと81歳、80歳、79歳の若手メンバーで楽しく集まっています！

年間開催回数

No.1

「ラジオ体操の会」

雨の日も真夏でも真冬でも毎日欠かさず365日開催中。毎日開催型のラジオ体操をおこなう『通いの場』は他にも各地に存在しています。

ICT
導入部門

No.1

「中地区げんき会」

Zoomを使ってサロンを開催！コロナ禍で生まれた新しいつながり方が定着しています。

よく使われるサロン名

No.1

- 1位 「地元の地名」
 - 2位 「いきいき」
 - 3位 「ふれあい」
 - 4位 「活動のわかる言葉」
- 例) 体操、囲碁、手芸等
「元気」「寿」「楽」も人気です！

「サロン」という言葉以外で通いの場をあらわすと「カフェ」「集い」「教室」「処」「遊園」「亭」「ハウス」「クラブ」「喫茶」等さまざま

カプラ積み上げ
部門

No.1

「亀の会」

カプラで積み上げた塔の高さを競うレクリエーション、挑戦者募集中です。

このサロン名
読めるかな？

- ①盛春会 ②笑和会 ③ラララ楽楽 ④暮楽輝サロン
※正解は次号VOL.34に掲載します。

参加者 大募集

令和5年1月～2月にかけて、倉敷・水島・児島・玉島4つの地区で支え合いのまちづくり地区フォーラムを開催しました。それぞれの地区独自のテーマで、支え合いの意識を高めました。

集大成は支え合いのまちづくりに
全市フォーラムへ



倉敷

ご近所だから広がる支え合い
ご近所だから広がる仕組みづくり



水島

「つながり」から始まる支え合える
まちづくり～大マッチング大会～



児島

人と地域をつなぐ移動支援
～地域で暮らし足を考える～



玉島・真備

「紡ぐ」おたがいさまからつながる地域づくり

支え合いのまちづくり フォーラム

今年度のフォーラムのテーマは「社会参加」と「居場所づくり」
住民や関係機関がつながり続ける元気な地域から、地域共生社会が見えてくる！

3月26日

13:00～15:30



ライフパーク倉敷 大ホール

第1部

基調講演

13:05～13:50

「地域は可能性に溢れてる！」
～〇〇しているのは誰？～

講師：松戸市福祉長寿部 参事監 中沢 豊 氏

参加費無料・定員250名

第2部 通いの場実践発表

14:00～15:30

- ・マンションで取り組む出会いとつながりづくり「エグゼ友の会」
- ・地域みんなで外出と社会参加を応援「ぐるっとごうない」
(郷内地区社会福祉協議会・社会福祉法人浩志会)
- ・社会福祉法人が地域と取り組む居場所づくり
「みんなのれいそうこOOTAKA等」(社会福祉法人四ツ葉会)

ご来場者様には
通いの場ガイドブック
を差し上げます。

アドバイザー 厚生労働省 新型コロナウイルス対策推進本部
企画官 吉田 昌司 氏(元 倉敷市保健福祉局 参与)